

2026年7月2日

各 位

会 社 名 株式会社 Birdman  
代 表 者 名 代表取締役社長 吉川 元宏  
(コード番号：7063 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 國松 晃  
(TEL 03-6865-1322)

## 系統用蓄電池設備の完工及び運用開始に関するお知らせ

当社は、2025年10月27日付「新たな事業の開始及び固定資産の取得に関するお知らせ」において取得を公表いたしました系統用蓄電池につきまして、このたび当該設備のすべての工事及び系統連系が完了し、運用を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 工事完了及び運用開始の概要

当社は、再生可能エネルギー事業への進出に伴い取得を進めてまいりました、鳥取県境港市所在の系統用蓄電池設備につきまして、2026年7月1日に全ての建設工事及び電力会社との系統連系(※1)が完了し、2026年7月4日に運用を開始いたします。

本設備は、昼間に発生する再生可能エネルギーの余剰電力を一時的に蓄電し、夕方以降の需要ピーク時に放電・売電を行う「ピークシフト型」運用を通じて、需給調整市場(※2)への参入及び電力取引の最適化を図るものであります。

(※1) 系 統 連 系：電力会社が持つ送配電ネットワークに自社の設備を物理的・電氣的に接続し、電氣を受電（または売電）できる状態にすること。

(※2) 需給調整市場：電氣の需要と供給のバランスを保つための『調整力』を売買する市場のこと。

#### 2. 運用方法の概要

本設備は、運用開始後約3ヶ月間は試験的に「ピークシフト型」運用を行い、その後、需給調整市場における「一次調整力市場」へ参入する予定です。

一次調整力市場とは、電力の周波数の乱れを瞬時に抑えるための調整力であり、10秒以内に出力を増減させる必要があるなど、需給調整市場の中で最も速い応答が求められる商品です。蓄電池は瞬時の出力調整に優れるため、こうした一次調整力との相性が良く、比較的高い単価での取引が期待されます。

当社は、試験運用を経て本設備を一次調整力市場での運用へ移行することで、設備稼働率の向上と収益基盤の安定化を図ってまいります。

### 3. 運用開始遅延の理由

本設備の運用開始時期につきましては、2025年10月27日付開示において2026年4月を予定しておりましたが、世界的な変圧器の材料不足とデータセンター等での需要急増を背景に、キュービクル（高圧受電設備）（別紙図1）が市場全体で深刻な品薄状態となっており、その影響を受けたキュービクルの納品遅延により、当初の予定から約3ヶ月後ろ倒しとなりました。

なお、取得する設備の仕様・容量等に変更はなく、当初の事業計画通りの設備が完成しております。

### 4. 運用開始する系統用蓄電池設備の概要

(1)	所在地	鳥取県境港市高松町字五輪松
(2)	AC容量	1,999.9kW
(3)	DC容量	8,128kWh
(4)	バッテリー（別紙図2）	HUAWEI 社（LUNA2000-2.0MWH-2H1） 2,032kWh×4基
(5)	パワーコンディショナー（別紙図3）	HUAWEI 社（LUNA2000-100KTL-NHH1） 100kW×24台
(6)	エネルギーマネジメントシステム	EMS（フリー）

### 5. 日程

(1)	取締役会決議日	2025年10月27日
(2)	工事完了・系統連系日	2026年7月1日（2026年4月予定）
(3)	運用開始日	2026年7月4日（2026年4月予定）

### 6. 業績に与える影響

本設備の運用開始に伴い、当該事業による当期（2027年6月期）の売上寄与につきましては、需給調整市場における上限の引き下げを考慮した上で当初の予算よりも保守的に算出し、約280百万円を見込んでおります。

なお、本設備は、前項に記載のとおり試験運用を経て一次調整力市場での運用へ移行する予定であり、移行後は同市場を収益の主軸とすることで、収益基盤の安定化を図ってまいります。

また、当社は、本設備に続く二基目の蓄電池設備の取得・保有についても、現在、案件の精査を進めております。

来期以降の業績予想に与える影響及び二基目の取得に係る進捗を含め、今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上

図1 キュービクル (高圧受電設備)



図2 バッテリー

HUAWEI 社 (LUNA2000-2.0MWH-2H1)



図3 パワーコンディショナー

HUAWEI 社 (LUNA2000-100KTL-NHH1)



図4 システム用地区電設備全体①



図5 システム用地区電設備全体②

